

牛岳温泉健康センター外3施設について（陳情）

富山市長 森 雅志 様

平成29年2月16日
山田地域自治振興会
会 長 吉田 良雄

平成29年1月13日に開催した山田地域自治振興会総代会で観光政策課から提示された「公共施設利活用チームの方針」及び「富山市の方針(案)」に対して地域内で意見集積した結果、次のように回答（陳情）いたします。

□公共施設利活用チームの方針

【牛岳温泉健康センター・ささみね・グリーンパレス・木MAMA】

「原則として、指定管理終了時（平成29年度末）をもって施設を廃止する。
ただし、民営化による存続についてもあわせて検討する。」

【スキー場】

「当面は、現行による運営を継続しながら、スポーツ施設として、持続可能な運営方法について検討する。」

□富山市の方針（案）

【牛岳温泉健康センター】は当面の間、継続して運営する。

【グリーンパレス】は冬季間（スキー場を運営している間）の食堂のみとする。

【ささみね及び木MAMA】は、平成29年度で廃止する。

【スキー場】は当面の間、直営で運営する。

山田地域自治振興会総代会（H29.1.13）での市から自治振興会への依頼内容

上記方針を地域内へ説明され、意見を取りまとめられたい。ただし、富山市の方針（案）に対して承諾出来ない場合は公共施設利活用チームの方針に従い事業実施するものとする。

□山田地域自治振興会からの回答（陳情）

牛岳温泉健康センター外3施設及び牛岳温泉スキー場は交流・観光施設として地域の活性化にその各々の機能を発揮してきており、山田地域活性化のテーマである「スキーといで湯の里やまだ」の中心施設である。また、住民にとっては大切な雇用の場でもあるため、そのどれを廃止されることも地域にとっては大きな痛手である。そしてその結果、益々人口減となり過疎化に拍車をかけ、地域全体の疲弊が進行することとなる。そのため、どれをも存続させることを切望したい。

以下各々の施設について考慮いただきたい。

【牛岳温泉健康センター・ささみね】

- ・民営化を検討されつつ当面継続して運営されたい。

理由：「ささみね」は近年指定管理者の営業努力の結果、多くの多種多様な利用者に利用され、売上も向上してきている。また、両施設は渡り廊下で接続され、入浴、宿泊、飲食サービス等を不断なく利用者に提供することの出来る一体的な施設である。これを分割して運営すること又は「ささみね」を廃止することは現状以上に管理の不効率化を招くとともに、利用者に不便をかけることとなり、施設全体が運営不可能な事態に陥ることとなる。また、両施設は今では山田の温泉のシンボリックな存在となっており、運営廃止により、地域一体が疲弊するにとどまらず、廃墟施設が景観を損ねることが容易に想像される。

【グリーンパレス】

- ・冬期間（スキー場利用期間）は全施設を利用可能とし、それ以外の期間は予約利用での運営とされたい。

理由：スキー場内において民間施設の存続が危ぶまれている中で、利用者にとってはなくてはならない基幹施設であり、スキー場全体として運営の重要な役割を支える施設であるため、上記3施設とは切り離れた位置づけとすべきである。また、他期間においては学校等団体の合宿や八尾「風の盆」の宿泊施設としての利用が多くあること、及び、施設の適切な管理を行うためにも予約利用を可能とされたい。

【森のコテージ 木MAMA】

- ・民営化を検討され、応募が無い場合は平成29年度末で休止又は廃止はやむを得ないとする。

理由：黒字経営されている健全な施設であり、リピーターも多くその運営は継続されたいが、施設自体が経年劣化してきており、今後修繕費が高騰する。新たな利用目的を持って民営化に期待したい。

【牛岳温泉スキー場】

- ・継続して運営されたい。

理由：県内唯一の人工造雪機をもつ施設であり、近年雪不足な気象下でも安定的なゲレンデを提供することが出来る冬期間の市民のスポーツ施設として重要な役割を果たしているとともに、地域振興の要の存在である。

運営については民間へのこれまで通りの指定管理委託に加え、施設の無償貸付等も検討され、徐々に譲渡の方向へと民営化を進め、激変緩和を図られたい。また、施設の在り方、地域振興方法を再度考慮し、地域全体がこのことにより疲弊しないように十分に協議した上で実施されたい。

その他意見

○牛岳温泉健康センター

- ・バリアフリー化を行い、高齢者の利用促進を図る。
- ・年間利用券を復活し、利用促進を図る。
- ・市内のイベント等での商品として温泉利用券を利用する。
- ・地域内及び近隣地域も含めて各種団体の会議・会食等の利用を促進するように販促する。

○ささみね

- ・1F部分を湯治施設として長期滞在型宿泊を売り出す。
- ・指定管理ではなく、施設貸付等民間事業者の企画力・営業力・経営力が生かせるような運営の仕方を行うべきである。
- ・夏は牛岳登山、里山散策、畑作業、地域産物を利用したの料理、冬は雪山散策、スキー等のメニューに宿泊・温泉をパックとした体験型プログラムを売り出す。
- ・サービス付高齢者住宅又は介護保険施設として運営する。

○木・MAMA

- ・個人又は団体へ一棟単位で長期（半年・年間）貸出を行う。（八尾クラインガルデンのような利用）

○グリーンパレス

- ・民間へ無償貸付（運営費は民間）を行い、年間を通して利活用を促進する。